

第11回釧路都心部まちづくり推進協議会（準備会） 意見要旨

■2022年2月下旬から3月上旬に掛けて書面開催。書面にて、委員やオブザーバーから意見をいただいた。

■名 簿：末頁のとおり

■議 事

- (1) 第10回釧路都心部まちづくり推進協議会（準備会）の議事概要
- (2) 釧路都心部まちづくりフォーラム等の開催結果報告
- (3) 釧路駅周辺の再整備方針について

■議事（1）第10回釧路都心部まちづくり推進協議会（準備会）の議事概要

意見なし。

■議事（2）釧路都心部まちづくりフォーラム等の開催結果報告

（高野座長）

・フォーカルポイントは、旧来からまちづくりのなかで着目されてきたもので、集団で共有する視点や場を持たせることにより集団を戦略的に強くするというもの。

地域であれば駅や橋などの特徴的な場所で、全く連絡が取れない相手とどこかで待ち合わせるときに互いが思い合う場所が該当する。釧路市の都心部には、そういう場所が現在ないので、これからつくっていくことが重要ということを経典講演の内容とした。

（松井委員）

・フォーカルポイントのお話をいただいて思い浮かぶのは神社。昔からの日本の地域の中心は神社とっており、そういうイメージに近い。誰もが思い浮かべる共通の心のふるさとみいたいのがあるとなれば、それは非常に強い味方になり、まちづくりを進める重要な要素になる。非常にいい言葉だと感じた。

・北大通商店会の佐藤理事長が北大通のウォークブル、歩行者優先という考えが市民に文化として根付くところまで計画が波及すると良い結果になると言っている。これは非常に重要なことであり、例えば、日本では信号のない横断歩道を渡ろうとした人がいても、停車する車は45%程度というデータもある。

根本的に車優先の社会を作ってしまうと、それを見直し、歩行者優先の考えを市民全体が共有できたら、非常に良い。

(高見委員)

・くしラボの動きは素晴らしい。公共事業を実施する市側と市民側が良い距離間にある。まちづくりフォーラムに集まった皆さんも非常に前向きな意見が多く、戦略会議をやっているなかでも徐々に鉄道高架の話が浸透しているという実感はある。

ただし、仲間内で盛り上がっているだけで見逃していることはないか、その他大勢の市民がどう感じているのかを気に掛けながら、検討を進めていく必要がある。

■議事（3）釧路駅周辺の再整備方針について

(高野座長)

・フォーカルポイントは概念的なもので、この場所に市民や観光客の方も含めて多くの方が何かを求めて集まってくる時の焦点という風に考えることで発展性がある。

・富良野マルシェは、富良野に遊びに来た方が間違いなくここに買い物や食事をしに来たりする。また、スーパー、子育て施設や市営住宅もあるので、市民の方がたくさん集まる場にもなっており、フォーカルポイント的なものとして良い事例である。

・バスターミナルは、人口が減少する中で、スムーズな乗り換えは必要な一方で、大きな面積のターミナルをつくる必要はない。冬のことを考えると屋外の広大な道路空間を維持管理するのは大変である。冬には待合室に快適に待てる工夫ができるとよい。

・建築の分野では公共空間や拠り所の作り方が大きなポイントになっていて、様々な工夫がなされている。一連の流れのなかで、居心地の良い集まる場所をつくり、その周辺に交差する機能をどう配置できるのかを検討できるとよい。

・公共施設では、教育文化や交流機能はもちろんのこと、それらと合わせて、日頃コミュニティ活動が行われるような機能、子育て機能が必要かもしれない。

(高見委員)

・釧路駅を中心として、広く土地利用を図ることは、利活用の自由度が上がり、まとまりのある集客施設も誘致しやすい。できるだけ1つ場所に機能を集積させて、人を呼ぶ、そして外に波及させていくということができると良い。

一方で、広く土地利用を図るということは、鉄道用地だけでなく、民間用地も事業範囲になることが想定されるため、事業の実施をどのように担保するのが課題となる。

・土地利用の比較パターンを作って、デベロッパーや事業者に意見を伺うということは意義がある。

・大分駅前の開発では、大分駅のすぐ傍に、色々な省庁を一つに集約した公共施設を整備した。施設に複合性を持たせることが重要だと考えている。

(松井委員)

- ・テーマが人中心のまちづくりであることから、大切なのは、バスターミナルのデザイン、それに付随するバス優先道路、また、エリアとしての特徴となる人の集まる場所（フォーカルポイント）、土地利用構想、更には、将来のスローモビリティの構想と考えている。
- ・釧路市全体を考慮して、この土地にどういう施設がふさわしいのか、どう使われるのが一番いいのかをよく検討する必要がある。

(菅野委員)

- ・バス専用道路の整備により、駅南側に交差点が新設されるが、そのことにより、周辺の交差点において、一般車に右折禁止などの交通規制が発生する場合には、交通利便性が損なわれると考える市民の方もいると思うので、十分に理解してもらうよう努める必要がある。また、それら交差点の視認性も確保する必要がある。
- ・駅周辺の再整備案の土地利用について、例えば、駅前オープンスペースの南西側に建物が整備された場合、駅前オープンスペースが日陰になるので、日陰も考慮した土地利用についても検証すべきと考える。また、今後、再整備案の土地利用の方針図を作成した方が良いと考える。

(オブザーバー JR北海道(株)地域計画部)

- ・現時点で新しい駅舎の位置を特定することはできませんが、考え方として、新しい駅舎の位置は北大通から駅側を見た正面性を考慮すべきと考えます。また、まちの顔となるべき駅舎の位置はオープンスペースと整合させるべきとも考えます。

以上

第11回 釧路都心部まちづくり推進会議（準備会）名簿

(敬称略)

		所属	役職	氏名	備考
1	委員	北海道大学工学研究院 土木工学部門	教授	高野 伸栄	
2	委員	日本測地設計（株）	副社長	松井 直人	
3	委員	法政大学デザイン工学部 都市デザイン工学科	教授	高見 公雄	
4	委員	釧路市 総合政策部	部長	菅野 隆博	
5	委員	釧路市 産業振興部	部長	中村 基明	
6	委員	釧路市 産業振興部	観光振興担当部長	熊谷 伸勝	
7	委員	釧路市 都市整備部	部長	高橋 一浩	
8	委員	釧路市 住宅都市部	部長	高木 雅博	
9	オブザーバー	北海道開発局 事業振興部 都市住宅課	都市事業管理官	西山 泰幸	
10	オブザーバー	北海道開発局 事業振興部 都市住宅課	街路市街地係長	西川 淳	
11	オブザーバー	北海道開発局 事業振興部 都市住宅課	街路市街地係員	宇津味 聖也	
12	オブザーバー	北海道開発局 釧路開発建設部 道路計画課	課長	大江 祐一	
13	オブザーバー	北海道 建設部 まちづくり局 都市環境課	課長補佐	高木 広樹	
14	オブザーバー	北海道 建設部 まちづくり局 都市環境課	主任	麻柄 幹也	
15	オブザーバー	北海道 釧路総合振興局 釧路建設管理部 事業室 道路課	道路課長	三城 圭吾	
16	オブザーバー	北海道 釧路総合振興局 釧路建設管理部 事業室 道路課	主査（都市整備）	長谷川 幸一	
17	オブザーバー	北海道旅客鉄道（株）総合企画本部地域計画部	主幹	野澤 憲士	
18	オブザーバー	北海道旅客鉄道（株）総合企画本部地域計画部	主席	近藤 浩文	
19	事務局	釧路市 都市整備部 都心部まちづくり推進室	都心部まちづくり担当部長	山中 広徳	
20	事務局	釧路市 都市整備部 都心部まちづくり推進室	室長	吉岡 亨	
21	事務局	釧路市 都市整備部 都心部まちづくり推進室	専門員	三上 寛矢	
22	事務局	釧路市 都市整備部 都心部まちづくり推進室	専門員	吉田 良平	
23	事務局	釧路市 都市整備部 都心部まちづくり推進室	主任	山下 展	